



令和5年度「こいのぼりプロジェクト」

笠間市の小・中・義務教育学校では、日本文化を継承するために各家庭であまり行われなくなった季節ごとの行事を行っています。現在は、こいのぼりが元気に泳いでいます。これからも七夕やひな祭りなどの行事を一年を通して行っていく予定です。



令和5年度第2、3回「行動褒賞」の授与

4月25日（火）に第2回の行動褒賞の授与を行いました。3年1組の石川さんは、23日（日）の朝、授業参観に来校する保護者用のスリッパを運んだり、並べたりするのを進んで手伝いました。教務主任の青木先生から、自主的によく仕事をしてくれたと推薦がありました。

また、同じ日に第3回の行動褒賞の授与を行いました。2年1組の谷田部さん、2組の笹目さん、三宅さん、4組の福田さん、3年4組の畑岡さん、塙さん、諸星さん、横田さんは22日（土）の部活動終了後、C棟裏の草を集めて捨ててくれました。剣道部の塩幡先生から、協力してよく仕事をしてくれたと推薦がありました。



笠中生にすすめたい一冊の本③

今回は、高校生が選ぶ読みたい文庫 No.1、森 絵都の「カラフル」を紹介します。

主人公のぼくは、生前の罪により、輪廻（何度も生まれ変わること）のサイクルから外されてしまう。しかし、天使業界の抽選にあたり、再挑戦のチャンスをもたらえる。そして案内役の天使プラプラの力を借りながら、自殺を図った少年、真（まこと）の体にホームステイを始める。天使のボスからの課題は、ホームステイの間に前世の記憶を取り戻し、自分の犯したあやまちの大きさを自覚すること。

最初は、真としての生活を嫌がっていたが、次第にぼくは、人の欠点や美点が見えてくるようになる・・・。

私たちは、他の人の一面だけを見てその人を理解したつもりになることが多いが、別な方向から見ると違う面が見えてくる場合があります。人間は一色ではなく、たくさん色からできていて、決めつけてしまっはいけないと考えさせてくれる一冊です。

※ このコーナーで紹介した本は、図書室に置いてあります。

